

日本女性の底力

「なでしこジャパン」やりましたね！

ドイツはフランクフルトで行われたスウェーデン戦、3-1の圧勝でした。

日本女子代表は、これまでオリンピックに3回、FIFA女子ワールドカップに全6回出場していますが、メダルには届いていませんでした。今回の準決勝の勝利で、初めてのメダルを日本サッカー界にもたらすことになりました。日本サッカーに新しいページを開いたといっても過言ではありません。

選手の皆さんはもとより、関係者の喜びは大変大きいと思います。選手の健闘を讃えると共に、おめでとうと申し上げます。

私は、ほとんどスポーツ番組は見ないのですが、昨日は、朝の3時45分から終了のホイッスルが鳴るまで、テレビに釘付けで見てしまいました。

スピード感溢れるプレーの連続でしたが、後半戦、終了までの20分間は長かったですね。2点差があるから大丈夫と思いながら、かなりハラハラしました。

スポーツ音痴の私ですが、「なでしこジャパン」は賞賛に値すると思います。身長差10センチというハンディキャップをものともせず、巧みなパス回し、運動量では明らかにスウェーデンの選手を上回っていました。一人ひとりの選手が輝いていたと思います。

「なでしこ」は「撫でし子」に通じ、しばしば子どもや女性にたとえられ、昔から、万葉集などで沢山歌われてきました。

うるはしみ

我（あ）が思（も）ふ君はなでしこが

花になぞへて見れど飽かぬかも

これは大伴家持の歌った歌ですが、「なでしこ」には、たおやかで美しい女性をイメージさせるものがあります。「なでしこジャパン」はこうしたイメージとは全く異なりますが、しかし、日本女性の力強い美しさを、世界中の人々にアピールしたのではないのでしょうか。

「なでしこジャパン」は、日本の子どもたちに大きな夢と力を与えてくれました。世界を目指し、サッカーに打ち込む子ども達が増えることでしょう。

決勝戦は、強豪アメリカとの闘いです。「なでしこジャパン」はまだ一度も勝ったことのない相手だそうです。でも、今回の試合運びを見る限り、臆することなく持てる力を発揮してくれるに違いありません。

がんばれ「なでしこ」、がんばれ「日本」！！（塾頭 吉田 洋一）